



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	国民社会の研究 第23巻
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Description	『鈴木栄太郎著作集 7（国民社会学原理ノート）』を出版した際のソースとなった原稿である（同書内での言及による）。
Issue Date	1962-11-07
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77529
Type	manuscript
File Information	I026_0141.pdf



NOTE BOOK

CONTAINING BEST RULED FOOLSCAP

國民社會の研究

(41)

國民社會學の構成大綱 P.34

第二十三卷

昭和三十一年二月二十三日

A
30
/
353



意匠登録
No.151492



一、は屋上は、式の本式が、競争上、昇の
アたりが、式に妥がしう、好くお誠實ありや

高田 金五郎 9

日本の侵略は、
日本の利益を
主張するもの

1312

日本第一集團

923921

日本人民革命の発展の必要を主張する

262524232219 17 1312 9 7 4 1

一口民記を各章構成

一マキバーの普及事情

一統治の内容と統治の組織

一口民記の記述構造

一口民記各章の構成大要

日本の丁度と格力の幸運

37 34 33 31 30 29

口家は土地共同と協力の為の
目的を集團である

この点については沢清演習満演

口家史ノット¹⁰³の真意

口民記分にはNo3

マキバーは口家を政治の目的の為に集團

と見えてあるが統治する側が主である

く政治する側の集團である。然しそれが可

能なのは統治される者の側にも土地共同

と協力の為にはそれが必要である

の。そんな事を認めないとする政治者は

自分の義務が目的か、征服して口を作

るかも知れぬが、政治は土地共同と

協力の為にはそれが必要である

1. 協力の為にはそれが必要である

出来たてあそび。その外に人民の為に
は必要である。送くるかお米とてあそび。
同色は土地と旗が如き人民の帯
たてあそびを充分に破壊する事
が出来た。かどうかわからない。ねん
には思ふ。

土地共同は為政者も被政者も
共に死ななくてはならぬ。両方の両共通
の死は外には強ひたてられぬ。
このよ。天竺の外能が両共通の
敵である。か米は宿命の敵は
わて、ちうか多く、外能の力が人
为的対象の対象である。もの。

口境線を強化せよ

外敵に訴す。対象は寧ろ口境線の
内側以外にはない。口境線の完全な據
は最も限に必要を要するであらう。

他初物は外敵に受命に受けられてい

た。他は一日の間に一瞬同じく、自分

の生れは場所には絶対的なものとい

は。各藩は外敵にせかされてい、他は

である。せめてそんな一瞬、一片の土地を

生れはどんな新視して来るのか。

口家から人々を地帯を分へたなら

其の相違は少ない。獅子を遙くは

らってこれる虎にはどんなるしでもつかえ

と云ふ譯である。

3

一 泰始皇帝の御名

数年前
ある人の
宛書に
つれて

日本
近
令
長
生
不老
藥

おのれ
の
智恵
に
注意して事を行

余福の墓には左の如く記されている。

船舶の航行

五七 心が破れず亡命して素人にも多い。



THE NIPPON KANGYO BANK

當時の中口では帝王に反対する
 不満の政界
 や僧侶や詩人が日本に亡命して
 いた。

徐福の来日と弥生・式文化

□家統治は□民のためにあつた
外にそれはない

□の外の大さな□の力かもの大さな
□を字にその□民を統治とい
ふ場合もある

□家は方の土地の□民が自ら意
の力に任つてゐる□民あるべきであ
Aに任る人□がその人□のため統治
ある□の□民ある□民□外
力が□外の人□のためAの人□を
統治する□民もある

統治は自分か自分を持つてゐる
□民□民といふ□民。統治する人
と統治される人□は別であり又

6
うはのめにも福も知人であつた金も
ある。良き門家の墓はいろいろ
遺せしげなところ。
身力の方の身力が好む身力の口家
筑前ほかつての墓。
そんな墓の中には芥えられたのが
金作記名の概算。

学 上界形は本界の終極と見
のアメリカ式に近代化の傾向あり
や（綿糸製造）新日鐵（ヤナハ）
384525

この回を提議は屋台で、これは本
林本館の階層構造とあり、この林
和民は手探りで近頃の漸進さぐら
ていゝのである。あゝ助と申のか
ホと申すは、同じく、招来館
和民の取組を一般に氣にしてい
ない。

日本は今年も大分より、水害に
の階層がささいといふ、アガ力は建
物のほかに、身内、村の全貌、和民
を。

三月二十日 初年

11

高田博士と金佐元と、ア、ハーの
コメンタリー

コメンタリーと金佐元はワタナベと
同様に、日本に異なっている。コメンタ

リーは、必ずしも、金佐元の如く、ワタナベ

が、日本であって、金佐元は、ワタナベ

が、日本である。ワタナベは、ワタナベ

の、コメンタリーは、ワタナベの、ワタナベ

の、コメンタリーは、ワタナベの、ワタナベ

の、コメンタリーは、ワタナベの、ワタナベ

の、コメンタリーは、ワタナベの、ワタナベ

の、コメンタリーは、ワタナベの、ワタナベ

の、コメンタリーは、ワタナベの、ワタナベ

の、コメンタリーは、ワタナベの、ワタナベ

の、コメンタリーは、ワタナベの、ワタナベ

の、コメンタリーは、ワタナベの、ワタナベ

(江 英 雄)

[illegible]

日本も、まじやうに…

外へ船の日本 カスフ、トウシツタ
き皇貴が本分、ミツ、オム、イ

きとう ぎやう

一かには成る。国家は目的を持つ物
 幾をもつ集団の一つである。他の一切の
 集団と相反して統一の目的がある。實力を以
 つて最も強力な集団である。国家は
 其他の集団と同列にある一集団
 ではなく他の集団を統率す
 る實力を有する。
 国家は国家の上に在るものの中に
 在るが、金銭は金銭の上に在るもの
 形成して、この二つは互の中に
 家を含んで、即ち国家の下にある
 この二つは国家の下にある。国家は
 的統一、金銭は国家の下にある。国家は

口家底に
形の下にある。望む統である。
口良家にはあり申す口家かその上に
形成してある。望む統である。
発展的

四月五日

国家の目的 統治

① 領土の恒常性

(民族自決)

② 支那の恒常性

(五支配自)

③ 支那の恒常性

(他主口家)

④ 支那の恒常性

(大口のホロに
はすきき
利用の
制同盟)

⑤ 支那の恒常性

⑥ 支那の恒常性

四月九日

⑦ 支那の恒常性

⑧ 支那の恒常性

(工業口家)

日本の合理化—日本の生観

日本は西洋の文化東洋の文化を皆否定
く集め、しかもその何れも高度の高い文
化といへば、日本にある西洋文化は西洋
で唯一流の文化であり、日本は東
洋の文化も東洋に於ける一流文化であ
る。だから日本は概然たる集積であ
ると解する人が多い。何れも猿な
れで、カネで皆一流の猿まねである。
日本に於ける世界の一流品を皆否定
く見ようがある。然しよく思えば
日本人は最良の日本人の心を認め
最良の西洋人の心を身につけたい

と批評する人がある。日本人及び日本人
化を望む。

然し佛教より學んだ宗教制を以て
日本では必ずしも型どおりに直して切った
孝道徳も服喪の制なども、日本では
是よりなる。文字通り佛教の教を以てし
て、朝鮮の宗廟とする。日本の宗廟、
朝鮮は大抵佛教の宗廟に倣う。しか
るに生活における宗教や教法をとりま
り、過客に修むる。

中ロや朝鮮の文字は教養人のみに
解する。同一漢字も日本では
生活上便利な用異である。

口民社會。精武

一、民族

後學

一、言語

果

一、政見

後通

一、信仰

自共
無由
後

一、先儒後位

則有

一、階級國家

無有

一、職業國家

無有

一、國境線

在死
古移

18

一、
每
給
自
足
性
無
知
無
知

四
月
一
日
四
日

マクスウェルバーの都市研究のどこに学ぶべき
は笑かあやうか。

マクスウェルバーの都市研究では都市は
他の事業に似てゐる。

市民権を有する住民の自主的生計を

同僚である占大に特許をもつてゐる。市民

が互選して選出するといふ裁判権

をもつてゐる。又防衛力をもつてゐる自治体

を形式としてゐる。都市は国に似てゐる。

中世の都市は、中世の都市は、中世の都市は、

中世の都市は、中世の都市は、中世の都市は、

中世の都市は、中世の都市は、中世の都市は、

中世の都市は、中世の都市は、中世の都市は、

中世の都市は、中世の都市は、中世の都市は、

中世の都市は、中世の都市は、中世の都市は、

中世の都市は、中世の都市は、中世の都市は、

中世の都市は、中世の都市は、中世の都市は、

中世の都市は、中世の都市は、中世の都市は、

中世の都市は、中世の都市は、中世の都市は、

320

20
し
都市は
林檎と
共
人
同
の
共
同
を

活の場であつた。

政治体制が

長
玉
の
こ
ち
に
て
お
か
し
不
手
解
り
な
か
り
か
の
解
り
な
り

江
口
皮
層
和
不
特
性
以
爲
之
也

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

多子加
工商
業
と
家
庭
の
和
平

上巻の
新刊
入
考
し
る
考
不
明

100

六十年來一自代平和今秋平客を原州

北條郷市に
萬石に
大井
田

宋 程 頤 爲 朱 子 曰 宋 有 神 聖 矣

20

3. 已知 $\vec{a} = (1, 2, 3)$, $\vec{b} = (2, 3, 4)$, 求 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ 及 $|\vec{a}|$.

地上最貴の人同族を形すの原に在り
したの~~全~~^と全く同類である。その真知すの
あとにたさかゝるで多ハ一の様をおげ、
いふゆえんであり。丁度家畜がウー
の都市研究を嘲笑して、子も合せ
たえつ社会等をもすしはうハ一紙を
所味したおもしろかり。

四月二十八日 病中

此書を読んでなければ人同の社會ではなるとか
格や考え方も今の日本をどうにかする
事も知らぬ。

日本に於ける
政治的状況

日本に於ける政治的状況と其の発展
日本に於ける政治的状況は、明治維新以来、
漸次進歩を遂げ、今日に至るまで、
義政人情を以て堅く、おすばわりのが
政治的状況は、冷厳な全被服によつて
統一され、才二政黨同、相互の激突
教養と政変、総評と政府は、全被服に
けり、好意とあるが、こゝでも、矢張り
一政黨同の御を、お見せ、おわけ
は、おわけ。

四〇二九

日本經濟合作
發展計劃

世界關係一覽

201 經濟合作發展組織

NATO 北大西洋條約機構

WTO 世界貿易組織

EEC 歐洲共同市場

FTA 歐洲自由貿易連合

OECD 經濟協力開發機構

SEATO 東南亞條約機構

住居
の
占
め
方
を
考
へ
て
置
く

口民は必ずしもその結いより

一日本では家業の繁栄としての天運

國家を拂拭し人民を口家の完

成

二その次に世界連邦の實現のため

に努力する

一九五二、五、二、病室

住居の改善
と関係がある

25
本口民衆の組織的脱離の必要を、戦後
一、家庭的な経済的困窮の歴史的役割の
既に終ったとすると、この後、在籍の戦世代
の連帯に好意をなすもの、破産のため、戦世代は
家庭的困窮の一端として、民主的困窮と
の聯合として、世界連邦建設に参
するや、世界連邦建設の爲めは
家庭的困窮は好意となす。破産
の必要

り窮乏であつても口福であつて

農村は農民が生活してゐるところであ

る様に日本に農民は口福が受か

ることを望んでゐる。

日本にもお蔭で出来た政府が設け

た口福は日本に農民の生活の好

外に少しも切斷してゐる。

口福は農民の生活の好政府の改

定したものである。この二千年後の

同じ村も変化してゐる。けれども

日本の農民は江戸時代と同じく口

福を享受してゐる。口福も

口福であつて口福の大権

21

④ 日本、近世の社会生活の発展は、
 大動脈の脈流を、これに支

① 民生社会の各要素の構成

一、口増減居住人口の口籍別、年齢別
 構成（日本、朝鮮人、在日人、アイヌ

、白人、等）

一、口民生社会の階層の構成

天皇より庶人まで、外白人の位置

一、口民生社会の集落形態の構成

村、市、都府、行政区劃、交通路
 外、人口の居住分布

② 口民生社会の生産別構成

機、同、市、人口の量別、立地的表示

③ 行政機、同の大小別、立地と交通路、線

の量別表示

以上

七人の侍の地合の格免と倅

自著の「新
理
法
書
の
王
道
の
義
理

マスコミの輩が、
「と、空」

12. 本の価格を
船客と
船主と
船主と

丁巳仲夏

流に
の
木
は
あ
ま
り

一 本 人 之 著 作

世の人の心を
つとめてゐる

統
治
の
政
策

統
治
の
政
策

10/12/70

五、家系図の記号

六、口部記号と夫婦関係

七、世帯記号と個人記号の記号

八、世帯記号の記号と個人記号の記号

九、世帯記号の記号と個人記号の記号

十、世帯記号の記号と個人記号の記号

十一、世帯記号の記号と個人記号の記号

人の口民(常民)としての体験より理解して行く。

①(三)

口民の生活構造

A. 生活の基盤

B. 生活の発展

C. 余暇生活

D. 経済的支配的活動

口民の生活の生活構造

生活の基盤 生活の発展 生活の余暇生活

生活構造の動的把握

E. 家族生活の場 直に家族の生活の場

の及ぼす影響はこれから

資本主義的構造の場としての生活構造の一般化の外部の工業的要素

成長過程(動的過程)としての口民の生活構造の巨勢とテンポの大小における変遷

口民生活の成長大要

nation Community

口民生活の発展の概念

口民生活の発展の概念

A. 生活の基盤

B. 生活の発展

C. 生活の余暇生活

口民生活の発展の概念

口民生活の発展の概念

口民生活の発展の概念

口民生活の発展の概念

口民生活の発展の概念

口民生活の発展の概念

口民生活の発展の概念

口民生活の発展の概念

口民生活の発展の概念

（ハ）
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
850
851

心は通流の如く
心は通流の如く

心のかげの都（市）

日本の農業の現状と将来

王様（物人ハ）の、
復新、徴、富、本、防、
速、乃、事、下、流、小、
組、の、仕、を、精、巧、

相
 年
 一
 生
 世
 物
 口
 氏
 子
 物

ある軍造の流暢な理の組織と動力との関係

内
 におけ。整
 市
 (生
 業と
 余暇に

新刊

三

人の経済生活の口は

我の心は、
生と死の
生と死の
生と死の

人の知

〔流〕 園の三物
打搦口家世界

日本山王とて知らるる地

一、弥生式土器の入り来にも、銚子の利便、

米作の開始、現くさるる鯨入、こゝに

は口民の食力も亦中興、

三、北は昭和三十九年、紀伊、徳島、高知、

伊豫の除福が、何れも亦、春の如く、

の臣下で、早稲の、不景況、

とて、あつた、その一、
東洋の 紅海、

明治、泰西、を、作、の、

り、と、弥生式、の、金、の、

万、漢、の、四、郡、

と、日本、文化、の、一人、

彌生、の、

説 社

地固めの年を迎える日ソ貿易

昨年未だ東京でおこなわれていた日ソ貿易交渉が、ついにこの一年間に両国間で取引される貿易品目表が取り決められた。つまり、日ソ貿易は、すでに明年までの三年間にわたる貿易協定ができていく。それは、共産圏貿易に共通した二国間貿易協定の原則に立ちながら、一昨年までにたまたま、七千万におよぶ日本側の輸入超過を、日本の輸出超過によってなくすに埋めながら、長い目で見ての貿易の拡大をはかることに本音があらわ。今回の交渉は、三年協定の初年度にあつた昨年の実績を檢討しながら、一年目にあつた今年の品目表を作ることに主眼があつた。

ところが、周知のよつに連年の農産物の不作から巨額の主食輸入を余儀なくされ、他方では肥料の増産をはじめる国内経済政策の転換を打ち、急速にその具体化を進めるようである。この二つの進捗が、日ソ貿易交渉を打ち切れない現状にある。それは、貿易交渉を行ふインセンティブとしては、適当ではあつてもいまい。今回の日ソ交渉が始める時期が、日本側の指導方針も一月余りも遅れ、交渉自体もまだ岸上から進められ、案外早く片付いた印象を受けるのは、このようないくつ連年の特殊事情を反映したものと見てよいであらう。

なるほど、今年の貿易交渉は、昨年に比べて日本の輸出は一六%増、輸入は三三%増といふすれども、いさゝか拡大し、また輸出入じりでも日本側が三百万の輸出を予定されている。しかし、一昨年から昨年へかけての伸びが、輸出で二四%、輸入は一四%とみられていたに比べると、今年の伸び率は横ばい程度にすぎない。まして、三年協定で予定していた日本側の輸出に比べれば、昨年の黒字七百万は予定の三分の一にすぎず、今年の黒字幅見込みも同じく半分しかあたらぬ。したがって、日本の貿易全体の中心を占めていた日ソ貿易の比重を引下し、しかも過去の日本側の赤字を埋めるために、もつと日本の輸出を伸ばす形での拡大がはからなければならぬ。

日本側がほしがらないのにソ連の機械の買付けを求める「抱合せ」とか、ソ連の規格に合わせた木材しか売らない、といった取引上の問題の多くが、未解決のまま残っている。これは物足りない。イタタの輸送については、新たに専門家間で話し合つていくなつたが、ソ連側が一方的な取引条件を押しつけるために起つている他の問題は、ソ連側がたんに善処を約束したにすぎない。われわれは、ソ連側が買手の立場をもつと理解して、国際商慣習に合った取引方法を採用するよう、反省を求めたい。同時に日本側も、もつと積極的にソ連側に働きかけようと思ふ。日ソ貿易を将来伸ばすためには、地固めの年と思われ今年で、これを取引上の問題解決に双方が努力すべきであらう。

看護婦さん 足りない悩み

手足の不自由な看護婦さん。看護婦の不足は、東京・板橋区が看護婦不足の集団退職でピンチになつてゐる。四十一人の看護婦さんのうち十人が退職を申し出た。その補充がつかず、同区も厚生省も頭を痛めている。

看護婦不足の問題は、いわば山崎の一角で、看護婦不足の悩みのこの数年よりあつた。いまでは慢性化してしまつた。主務官庁の厚生省もあれこれ手をうつてゐるが、めだつた効果はあらわれない。看護婦不足の問題が慢性化し、むしろ深刻化してゐる原因は、どこにあるのか、もつと一度問題の背景をさぐる必要がある。

ねえ、これは理念と現実のギャップの一例だが、その解決に医療者看護婦、それに病院経営者が話し合ひ協議がなされてくれば、看護婦の不足も目撃もつと明るくなるであらう。

看護婦の問題は、直接には待遇問題が動機になつてゐる。同僚関係は、むしろいまだよくあつてゐる。看護婦は、むづかしい同僚的になつてゐるが、残された子どもたちのことを考えると、さうばかりも言つておれない。

看護婦という職業は、たしかにきびしい仕事である。月のうち三分の一はかき夜勤勤務、重症患者の身のまわりの世話、かきすりまわす忙しき、とかさねあはれ、献身的な心構えがなくては動かない。それだけに、つばな職業だが、戦後は「白衣」の魅力も低下した。身がたれ、収入の多い職業へと、若い女性の好みが変わつてきた。

また世間一般の職業観もかわつてきた。収入本位の価値観がゆき、仕事への誇りは薄れてきた。苦しい家計をやりくりしてきつた戦後の経済状況では、やむを得ないところがある。収入本位の職業観をたれしも正当なものとは考えていない。

長、白浜仁吉氏は十日午前東京で看護婦問題を現地に派遣して懇談会を開き、現在交渉が進められてゐる形式の集會を持ち、漁民を組織化して反対闘争の拠点とする方針を明らかにした。

中共を承認しないのは不適当なことだと思ふ。スウェーデンは中共の国連加盟についてはいつても賛成投票をしてきたが、世界

公職追放者に一時金

恩給法の一部改正案

この通常国会に提出へ

政府は十日の次官會議で、現行恩給法を部分的に修正する恩給法改正案を決めた。十一日の閣議には正式決定したうえで、通常国会に提出する。現行恩給法の改正については、いわゆる「恩給ペーシング」を含め全面的な改正を

もソ連の中立委員会に参加するなど国連を通じて平和のために協力しており、こんなことで態度を続ける。スウェーデンと日本との貿易は、日本が大幅な輸出超過を

